

講座名	りつのせかい				
	律の世界				
主担当 講師	やお ふみ		駒澤大学 仏教学部 講師		
	八尾 史				
概要	本講座のテーマは古代インドで生まれた仏教聖典の一ジャンル、「律蔵」(ヴィナヤ・ピタカ)です。これは出家者の日々の生活を律する規則や、出家者集団を運営してゆくための規則を集めた文献群です。初回で律蔵がどのような文献かを概説し、続いてスリランカ・東南アジアの仏教圏で今も生き続けているパーリ律(上座部の律蔵)の内容とその実践を、2回にわたって紹介します。最後に根本説一切有部律という文献をとりあげ、律蔵と経典や説話文学の関係についてお話しします。				
回数	全 4 回	受講料	4,000 円	配信 期間	6月
講座 レベル	初級	定員	200 名	講座 形式	オンデマンド形式
第1回	タイトル	律とはなにか ―三蔵と部派―			
	担当講師	八尾 史 (駒澤大学 仏教学部 講師)			
	内容	仏教聖典の区分である「三蔵」と、それらを伝えた「部派」と呼ばれるさまざまなグループ(学派)、そして律蔵が前提とする出家という生活形態について概説します。			
	配信期間	6月 1日 (水) ~ 6月 14日 (火)			
第2回	タイトル	東南アジア仏教の律 1			
	担当講師	古山 健一 (曹洞宗総合研究センター 常任研究員)			
	内容	東南アジアのテーラヴァーダ仏教(上座仏教)で実践されているパーリ語の『律蔵』について講義します。この回では、まず『律蔵』の概要を紹介し、この『律蔵』により成立し運営されているサンガの基本事項について解説します。			
	配信期間	6月 8日 (水) ~ 6月 21日 (火)			
第3回	タイトル	東南アジア仏教の律 2			
	担当講師	古山 健一 (曹洞宗総合研究センター 常任研究員)			
	内容	東南アジアのテーラヴァーダ仏教のサンガには、「サーマネーラ」と呼ばれる準員がいます。多くは未成年の僧侶であり、サンガの正員であるピク(比丘)のように『律蔵』を厳守する生活を送るのではなく、『律蔵』に準ずる生活を送っています。この回では、サーマネーラ(沙弥)の僧院生活について解説します。			
	配信期間	6月 15日 (水) ~ 6月 28日 (火)			
第4回	タイトル	根本説一切有部律と律の中の経典			
	担当講師	八尾 史 (駒澤大学 仏教学部 講師)			
	内容	根本説一切有部律は規則集でありながら大量の経典や説話を含むことで知られます。この文献をひもとくことで、古代インド仏教の聖典について何がわかってくるのかをお話しします。			
	配信期間	6月 22日 (水) ~ 7月 5日 (火)			
参考 文献	佐々木閑『出家とはなにか』大蔵出版、1999年 グレゴリー・ショペン『大乘仏教興起時代 インドの僧院生活』春秋社、2000年 岸野亮示、J・ストーン『シリーズ実践仏教II 現世の活動と来世の往生』臨川書店、2020年				
受講に あたっての 留意点					